

発展させたい4つの力

自ら学び続ける姿勢	<p>学習習慣を身につけ、よりよい看護をしたいという思いと関心を持って学ぶ姿勢。これからのキャリアビジョンを描き、自分に必要な力や課題を発見し、何のために何をやり遂げたいのか明確にする力。目的を持って、自律して学ぶ力。気づいた課題について解決しようと努力する力。</p> <p>看護実践を通して、対象にあった看護の質を向上させること。看護の質について、実践した看護を振り返る姿勢。</p> <p>育てたい力は専門職としての責任や自律性、誠実に看護師として学び続ける姿勢、リフレクションを通して経験を価値化する力。</p>
考える力	<p>情報の意味を分析し、これまでの経験や知識と照らし合わせて思考する力。対象に最適な援助になるように判断できる力。援助の根拠を吟味できる力。考える力には情報獲得収集、思考、推察、解釈、分析などが含まれる。</p> <p>育てたい力は、省察力、批判的思考力、創造力。</p>
行動する力	<p>自分も他者も大切に、関係性を築く力。考え、解釈、分析した根拠を明確にして対象にとって最適な方法で看護実践する。対象のその人らしさを追求し、安全・安楽な看護実践ができる力。</p> <p>育てたい力は、人間関係形成力、看護過程展開力、根拠ある看護実践力、チーム医療のなかでの多職種との協働力および調整力、指導、教育力。倫理に基づいた行動力。</p>
センシング力	<p>対象への関心と人間理解を基盤とし、願いや思い・反応を受け止める力。反応とは、心身の状況、痛みや辛さ悲しみや喜びなどの心の動き、大切にしているものであり、それらに気づき、感じ取り、看護に反映する。センシング力とは、状況や事実を捉える力・情報獲得力であり、獲得した情報を俯瞰し、客観的な視点から看護に反映させる。</p> <p>育てたい力は、感性、倫理観、人間理解、多様性の理解、洞察力、俯瞰力、情報獲得力、想像力。</p>